

リオ2016オリンピック競技大会に伴う海外出張について

(オリンピック・パラリンピック準備局)

1 出張先

ブラジル連邦共和国リオデジャネイロ市

2 出張者数

延べ71名 (期間:平成28年7月31日から 8月26日)

3 総経費

200,348,750円 <[出張経費の内訳\(PDF\)](#)>

4 副知事及びオリンピック・パラリンピック準備局長の出張

◆開会式時期

(1) 出張者: 山本副知事、塩見オリンピック・パラリンピック準備局長

(2) 期 間: 平成28年8月3日(水曜日)から同月10日(水曜日)まで

(3) 概 要:

ブラジル連邦共和国リオデジャネイロ市で開催されたリオデジャネイロ2016オリンピック競技大会において、大会の運営状況や大会関連施設等を視察し、東京2020大会に向けた開催準備の参考にするとともに、次回開催都市の代表として、IOC委員等の大会関係者と面会し、東京大会へ向けた更なる連携の強化を図った。

(4) 出張先での主な行動と成果:

8月3日(水曜日)

午後、羽田空港を出発しました。

8月4日(木曜日)

早朝、リオデジャネイロに到着しました。

午前、ルーシオコスタ通りにて、聖火リレーを視察し、沿道のセキュリティ状況等を確認しました。

午後、ジャパンハウスを訪れ、東京・日本をPRする展示等を視察するとともに、オープニングセレモニーに参加しました。

その後、副知事はウィンザーオセアニコ・ホテルで行われたIOC主催の晩餐会に都の代表として出席し、IOC委員をはじめとした大会関係者と意見交換を行うとともに、東京大会へ向けて更に連携を強化していくことを確認しました。



ジャパンハウス内の展示物

8月5日（金曜日）

午前、オリンピックパーク内にあるメインプレスセンター(MPC)にて、施設の設備や機能に加え、セキュリティやボランティアの活動状況等を視察するとともに、リオ組織委員会を訪問し、大会運営等について意見交換を行いました。

午後、マラカナンスタジアムで行われたオリンピック開会式に出席するとともに、会場周辺のセキュリティやボランティアの活動状況等を視察しました。



メインプレスセンター(MPC)



開会式の様子

8月6日（土曜日）

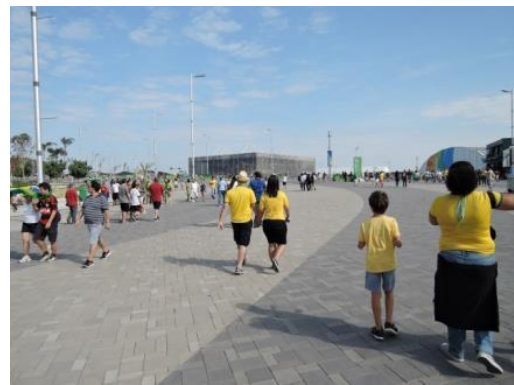
午前、アスリート、コーチ、サポートスタッフに対し、競技直前の準備に必要な支援を提供するハイパフォーマンスサポート・センターを訪問し、コンディショニングミール（選手の食事）やリカバリープール（交代浴）等、選手をサポートする設備や機能について説明を受けました。

午後、水泳競技の会場となったアクアティクススタジアムや、柔道が行われたカリオカアリーナ2を訪れ、会場設備や競技運営について視察を行いました。また、オリンピックパーク内に設置されたメガストア（オリンピック・パラリンピック公式ライセンスグッズ取扱店）を訪問し、公式グッズのデザインや店舗の運営状況を視察しました。

その後、梅田駐ブラジル日本大使から、オリンピック大会の運営状況や大会開催時の現地情勢等についてブリーフィングを受けました。



休憩エリア及びメガストア



オリンピックパークの様子

8月7日（日曜日）

午前、大会期間中、選手等の生活の拠点となる選手村を訪問し、居住空間や清掃、洗濯等のサービス、ダイニングホール等の設備機能を視察するとともに、選手村内における輸送システム、セキュリティ対策等を確認しました。

午後、ジャパンハウスレセプションに出席し、東京2020大会をPRするとともに、バッハIOC会長や橋本日本選手団長等の大会関係者と意見交換を行いました。



選手村



ジャパンハウスレセプションの様子

8月8日（月曜日）

午前、ボート競技会場となったラゴアスタジアムにて、会場設備や競技運営を視察するとともに、大会関係者と意見交換を行いました。

午後は、仮設のビーチバレーアリーナを訪れ、会場の構造や設備、競技運営を視察しました。

その後、日本に向け、リオデジャネイロを出発しました。



ビーチバレー会場(仮設)

8月10日（水曜日）

午後、羽田空港に帰着しました。

◆閉会式時期

(1) 出張者：塩見オリンピック・パラリンピック局長

(2) 期 間：平成28年8月17日（水曜）から同月24日（水曜）まで

(3) 概 要：

ブラジル連邦共和国リオデジャネイロ市で開催されたリオデジャネイロ2016オリンピック競技大会において、東京2020大会の参考とするため、大会の所管局長として、リオ大会の運営状況や大会関連施設等を視察するとともに、閉会式でのハンドオーバーセレモニーに係る連絡調整や現地に設置されたTOKYO 2020ジャパンハウスに係る運營業務等を総括した。

(4) 出張先での主な行動

8月17日（水曜日）

午後、成田空港を出発しました。

8月18日（木曜日）

午後、リオデジャネイロに到着しました。

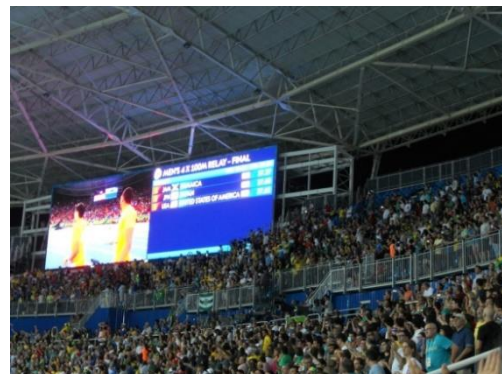
8月19日（金曜日）

午前、英国政府主催スポーツイベントに出席しました。イベントでは、オーバーレイや、大会成功のためのガバナンス、都市交通、セキュリティ、ホスピタリティ等のテーマについてパネルディスカッションが行われ、ロンドン2012大会を成功に導いた取組について有用な知見を得ることができました。

午後、陸上競技が行われたオリンピック・スタジアムに移動し、会場設備や競技運営、会場周辺のセキュリティ等について視察しました。



英国政府主催スポーツイベント



陸上競技会場の様子

8月20日（土曜日）

午前、オリンピックパーク内にあるメインプレスセンターにて、小池知事が出席した東京2020 記者会見について、都の責任者として関係者との連絡調整等を統括しました。

午後、オリンピックパーク内の会場で行われた、知事とバウハ IOC 会長との面会に同席し、オリンピックの準備や運営方法等について意見交換を行うとともに、東京2020 大会に向けた更なる連携の強化を確認しました。



東京2020 記者会見会場



記者会見を行う小池知事

8月21日（日曜日）

午前、男子マラソン競技の競技運営や沿道のセキュリティ状況等を視察しました。

午後、コパカバーナ地区に設置されたメガストアを訪れ、オリンピック・パラリンピック公式ライセンスグッズのデザインや販売状況等を視察しました。

その後、マラカナンスタジアムで行われたオリンピック閉会式では、ハンドオーバーセレモニーに係る連絡調整を統括するとともに、東京2020大会の参考のため、式典の運営状況等や会場周辺のセキュリティ状況、ボランティアの活動状況等を確認しました。



閉会式

8月22日（月曜日）

午前、ジャパンハウスで行われた知事のハンドオーバー翌日記者会見について、都の責任者として、実施に係る関係者との連絡調整等を統括しました。午後、日本に向け、リオデジャネイロを出発しました。



ハンドオーバー翌日記者会見

8月24日（水曜日）

午前、羽田空港に帰着し、空港で行われたオリンピックフラッグ到着歓迎式典に出席しました。

5 その他

オブザーバープログラム参加に係る報告書は[リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会視察報告（PDF）](#)をご参照ください。